

再生

車社会に今できることから手をつける



長野県中古自動車
リサイクルセンター
事業案内



協同組合長野県中古自動車リサイクルセンター

設 立 の 趣 旨

近年、車社会の発展に伴って、公害を始とする地球環境の保全を求める意識が高まる中で、特に1998年冬季オリンピックを迎える長野県においては、廃棄自動車の野積み問題をはじめ廃棄物等の最終処分場の問題など、美しい自然環境の破壊に結びつく数多くの問題が提起されており、これの廃棄自動車（部品類を含む）を処分するためには、所有車等が多額の費用を負担しなければ処分できない、という新たな問題も生じてきているところであります。

ところで廃棄物の処理については〈廃棄物処理及び清掃に関する法律〉第3条1項に「事業者は、その活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。」という事業者責任の規定があり、さらに資源の貧しい日本においては、限られた資源の再利用化と廃棄物の減量化について強く要請されているところであります。

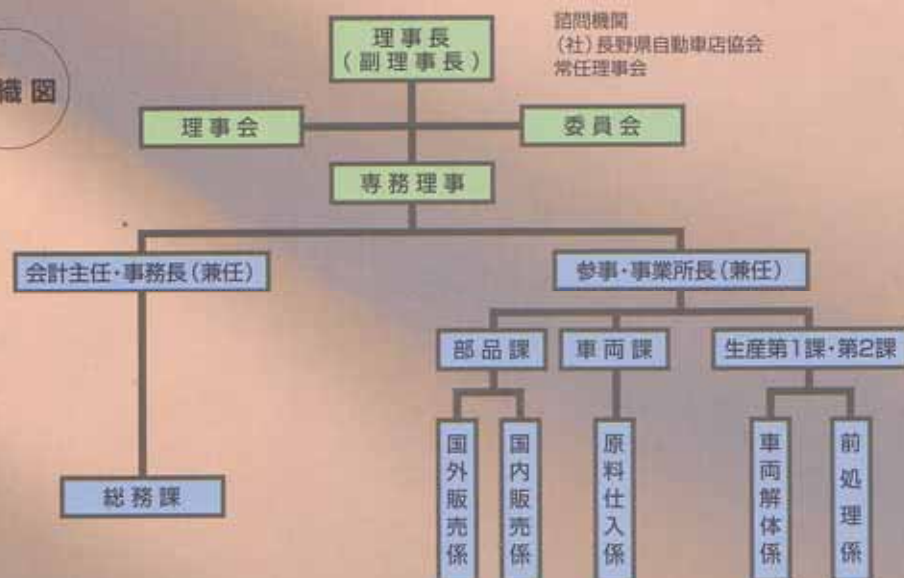
このような諸情勢を踏まえまして、ユーザーから下取りし使用不能となりました廃棄自動車については、自動車販売事業者の責任において処理することが、企業の社会的責任を果たす上からも必要であると考えまして、長野県下においては、自動車販売事業者が、相互扶助精神に基づき、事業活動から生ずる廃棄自動車の回収・解体・資源再利用化等廃棄物中間処理、再利用部品・鉄クズ・燃料油脂等の共同販売を行い、健全な自動車社会の実現と安全な生活環境の確保・良好な景観づくり等地域社会に貢献することを目的として、協同組合を設立し廃棄自動車等の処理をすることとしたものであります。

(協)長野県中古自動車リサイクルセンター
理事長 宇都宮 元

協同組合の概要

| | |
|--------|--|
| 名称 | 協同組合長野県中古自動車リサイクルセンター |
| 所在地 | 〒381-0034 長野市大字高田五分一沖679番地10 TEL.026-226-5416 FAX.026-226-5194 |
| 設立 | 平成7年2月10日 |
| 東部町事業所 | 長野県東御市加沢128番地1 TEL.0268-63-0155 FAX.0268-61-0088 |
| 組合員の資格 | 自動車卸・小売業を営み、長野県内に事業所を有する事業者（加入については、理事会の承認が必要） |
| 組合員数 | 48社（平成16年7月現在） |
| 出資金 | 1億1,630万円（平成16年7月現在） |
| 事業の内容 | ①組合員の取り扱い廃棄自動車の回収・解体・資源再利用化等廃棄物中間処理施設の設置及び運営 ②組合員のためにする廃棄自動車からの再利用部品・鉄クズ・燃料油脂等の共同販売 ③組合員の事業に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供 ④組合員の福利厚生に関する事業 ⑤前各号の事業に附帯する事業 |
| 事業年度 | 毎年6月1日から翌年5月31日まで |
| 役員 | （平成16年7月現在） 理事長 宇都宮 元（長野トヨタ自動車（株） 代表取締役） 副理事長 仁科 良三（（株）ホンダベルノ長野 代表取締役） 専務理事 竹内 元雄（員外役員） 理事 別紙とおり 監事 別紙とおり |
| 従業員数 | 30名～50名（事業規模により増減あり） |
| 事業計画 | 初年度（平成8年度）事業所建設・操業開始 処理台数 年間20,000台前後 将来目標処理台数 年間24,000台前後（月2,000台） |

組織図



PROC

業務概要図



解体分別



■ドアの窓を開ける ■部品取り指示カード(バッテリー)



■タイヤを外す(含、予備タイヤ)



燃料 ■ガソリン・軽油
オイル ■エンジンオイル
■ミッションオイル
■ブレーキフルード等

自家使用・廃油へ



廃液 ■冷却水(LLC)
■ウィンドウウォッシャー液
■フロンガス
■バッテリーその他部品

処理業者(最)

ESS

収集運搬



※その他部品は、再使用可能なハンドル・オーディオ機器・バンパー・ドア等を取り外し販売する。なお、販売については、小売及び卸売りで輸出を含みます。

(使用不能車)

エンジン



■エンジン ■トランスミッション

その他部品



■エンジン取り外し ■触媒取り外し ■プロペラシャフト
■ラジエター

販売

ボディ(プレス)



■二方プレス

廃油・廃液焼却炉



ダスト



終 処 分)

部品取システム

前処理

- ガソリンを抜く
- オイルを抜く
- 水を抜く
- バッテリーを外す
- フロンガスを回収する



部品取

- エンジン ●グリル
- タイヤホイール ●ドア
- ボンネット ●ラジエター
- ガラス(前、後面、サイド)
- ライト ●フェンダー

※部品取の作業はディーラーのサービス工場の整備作業と同じです。自動車を構成している部品の大部分が再利用されます。





分類
再生
保管

出荷

海外輸出

国内販売

- アメリカ
- ギリシャ
- オーストラリア
- ガーナ
- イスラエル
- エクアドル
- ペルー
- 中国
- その他

- 整備工場
- 板金工場
- 一般ユーザー



解体システム



解体

- 解体は車両解体機（ニブラ）で行います。
- 処理時間は1台当り5分～10分です。
- エンジン、ミッション、マフラー等を取り外します。





残った
ボディ

解体した後の残った車体で、取り外されなかったハンドル、バンパー、シート等は、そのままプレスされます。



プレス

出荷

大手シュレッダー業者へ出荷し、処理については当組合が最後まで責任を持ちます。



役員名簿

(平成16年7月現在)

| 役員名 | 会社名・役職 |
|-----------|----------------------|
| 理事長 宇都宮 元 | 長野トヨタ自動車(株) 代表取締役 |
| 副理事長 仁科良三 | (株)ホンダベルノ長野 代表取締役 |
| 専務理事 竹内元雄 | 員 外 役 員 |
| 理事 宇都宮 保 | 長野トヨベツト 代表取締役 |
| 理事 深澤 強 | 松本日産自動車(株) 代表取締役 |
| 理事 伊藤幸孝 | 長野日野自動車(株) 代表取締役 |
| 理事 亀山昭彦 | いすゞモーター長野(株) 代表取締役 |
| 理事 野崎勝政 | (株)甲信マツダ 代表取締役 |
| 理事 江頭英樹 | 長野ダイハツ販売(株) 代表取締役 |
| 理事 倉島圭三 | 長野日産自動車(株) 代表取締役 |
| 理事 宇都宮進一 | トヨタカローラ長野(株) 代表取締役 |
| 理事 山本裕康 | 長野三菱自動車販売(株) 代表取締役 |
| 理事 和田晶宜 | (株)長野ダイハツモーターズ 代表取締役 |
| 以上 | 13名 |
| 監事 柴田忠昭 | 南信スバル(株) 代表取締役 |
| 監事 鶴沢悦也 | 員 外 監 事 |
| 以上 | 2名 |

組合員名簿

| | | |
|--------------|-----------------|---------------|
| 飯田三菱自動車販売(株) | ネッツトヨタ信濃(株) | (株)日産サティオ松本 |
| 飯山トヨタ自動車(株) | トヨタカローラ長野(株) | 日産プリンス松本販売(株) |
| いすゞモーター長野(株) | トヨタカローラ南信(株) | 日産プリンス長野販売(株) |
| 伊北トヨタ自動車(株) | 長野いすゞ自動車(株) | (株)フォードライフ信州 |
| 上田ホンダ販売(株) | 長野スバル自動車(株) | 北信三菱自動車販売(株) |
| 軽井沢トヨタ自動車(株) | (株)長野ダイハツモーターズ | (株)ホンダオート長野 |
| 南黒川ホンダ販売 | 長野ダイハツ販売(株) | (株)ホンダクリオ信州 |
| 駒ヶ根トヨタ自動車(株) | 長野トヨタ自動車(株) | (株)ホンダクリオ長野 |
| (株)甲信マツダ | 長野トヨベツト(株) | (株)ホンダベルノ松本 |
| (株)信濃屋自動車販売 | 長野日産自動車(株) | (株)ホンダベルノ長野 |
| (株)スズキ自販長野 | 長野日野自動車(株) | (株)ホンダプリモ信州 |
| (株)スズキ自販南信 | 長野三菱自動車販売(株) | (株)松代ホンダ |
| 第一ホンダ販売(株) | 長野三菱ふそう自動車販売(株) | 松本スバル自動車(株) |
| ネッツトヨタ長野(株) | 長野ヤナセ(株) | 松本日産自動車(株) |
| 中部日産ディーゼル(株) | 南信スバル(株) | 松本ホンダ販売(株) |
| ネッツトヨタ信州(株) | 南信三菱自動車販売(株) | 松本三菱自動車販売(株) |

計48社

関連事業団体

長野県自動車販売店協会

- 昭和31年設立(長野県独自団体) ■会員/37社 各種自動車メーカー系列の販売会社が加入
- 年間予算(平成16年度)/880万円

(社)日本自動車販売協会連合会長野県支部

- 昭和39年設立(全国規模団体) ■会員/37社 準会員/21社
- 年間予算(平成16年度)/4億6,179万円

(社)長野県自動車店協会

- 平成3年設立(長野県独自団体) ■会員/37社 ■年間予算(平成16年度)/7,405万円
- 目的/交通安全活動及び環境保全活動事業を中心に取り組むことを目的としている。

廃棄物の処理

1 廃油

- ①水の混じっていない廃油の処理
 - 焼却炉の燃焼
- ②水の混じっている廃油の処理
 - オイル・リカバリー・廃污水等は、焼却処理
 - ③余熱利用ボイラー

2 廃ガソリン

- ①事業所施設の消費電力源補てん用電力
 - 自家発電機の燃料
- ②事業所使用車両の燃料

3 廃タイヤ

- ①中古タイヤとして販売する
- ②廃タイヤとして処分するもの=処理業者に委託処理

4 バッテリー

処理業者に委託処理

5 フロンガス

カーエアコンシステムから冷媒として使用されているフロンR12(平成7年12月31日で製造禁止)を大気中に放出することなく「フロン回収機」で回収し、処理業者により処理をしてオゾン層破壊の防止、環境保全をいたします。

6 その他のゴミ

取り外されなかったハンドル・バンパー・シート等は、そのままプレスされシュレッダー工場へ出荷されます。

※処理業者は、廃棄物処理資格・設備・経営等をチェックして委託します。

主要施設機械

| | |
|-----------------|----------------------|
| 敷地面積 | 25,877m ² |
| 建物面積(延床) | 3,189m ² |
| 事務室・工場(倉庫含む) | 1棟 |
| 液体抜室(ガソリン等) | 1棟 |
| 消火用ポンプ室 | 1棟 |
| 発電施設室(ガソリン用) | 1棟 |
| 廃油・廃液焼却炉兼ボイラー施設 | 1基 |
| 油水分離槽・浄化槽 | 1式 |
| 車両プレス機 | 1基 |
| 車両解体機 | 1基 |
| リフト | 3基 |
| フォークリフト | 7台 |
| 車両搬送台車 | 6台 |
| 車両 | 3台 |

